

令和5年2月27日

西会津町議会広報広聴常任委員会
委員長 武藤道廣 様

議会報告会第1班 班長 秦 貞継

議会報告会(第1班)報告書

「町民と議会との懇談会」(第14回議会報告会)開催結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
群岡保健センター	2月14日(火)	18:30~20:30	男性… 12人 女性… 0人 計… 12人
上小島集会所	2月16日(木)	18:30~20:30	男性… 9人 女性… 0人 計… 9人

自治区長出席者状況 群岡保健センター 上野尻自治区長 佐藤俊夫
上小島集会所 上小島自治区長 佐藤健一

添付書類…出席者名簿

2. 出席議員

秦 貞継 青木照夫 猪俣常三 上野恵美子

3. 実施内容

別紙のとおり

1. 群岡保健センター

(1) 担当係

- | | |
|----------|-------|
| ① 受 付 | 上野恵美子 |
| ② 進 行 | 猪俣常三 |
| ③ 開会あいさつ | 秦 貞継 |
| ④ 説 明 | 青木照夫 |
| ⑤ 記 録 | 上野恵美子 |

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

① 令和4年9月議会定例会・総務常任委員会所管事務調査について

・旧群岡小学校体育館について

避難場所として指定されているにも関わらず、民間企業に貸与していることや体育館内外に個人の木材が大量に放置されたままになっているのはどういうことか。また、他の廃校等の遊休施設は適正な管理をしているのか確認して欲しい。

- 回答…総務常任委員会の視察で現状を確認後、9月議会定例会で報告し、町に報告書を提出し、古材・木材といったものの早期撤去を要請した。その後、民間企業への貸与分に置かれていた古財等は撤去されたが、体育館の周りの木材はいまだに撤去されていない。引き続き町の指導・緊急避難場所としての適切な管理体制強化を求めていく。また、町内にある他の遊休施設の管理状況も確認する。 <回答者 秦>

・旧群岡小学校体育館周囲の環境整備について

プール側の木が茂ったままになっている。木の伐採のお願いを役場担当課には伝えてあるが、いまだに対応していない。どうなっているのか。また、校舎周囲のつつじを地域住民がボランティアで整備している。町は学校周囲の環境のチェックはしているのか。地域で自主的に行う場合、予算はつかないのか。

体育館周囲が暗いので町に外灯の設置を要望した。体育館は公民館が所管しているとのことで、公民館の予算の範囲で2灯しか設置してもらえなかった。

- 回答…生い茂った樹木の伐採については今後の対応を担当課に確認する。学校周辺のつつじ整備に対するボランティア活動への予算について可能か町に問い合わせる。体育館周辺の街灯整備についても町側に対応を確認する。 <回答者 秦>

② 令和4年9月議会定例会・経済常任委員会所管事務調査について

・さゆり公園について

視察の報告書の最後に「今後も人口減少や財政状況などに見合った適切な施設保有を、あらゆる角度から検討し、老朽化が著しい施設の除却についても考えていかなければならない」とあるが、町と議会で、その後の協議は進んでいるのか。

- 回答…具体的にはまだ進んでいないが、国の補助事業を活用して進めていく考えであると町からは説明があった。 <回答者 青木>

③ 本会議での一般質問・質疑について

議員の質問や提案に対して、町側は「理解してください」「検討します」という答弁をされることが多いが、町側が検討しているのか、議会は確認しているのか。

回答…予算確保などに時間がかかるのは承知しているが、継続して確認していく。

＜回答者 秦＞

(3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

① 農業振興について

・農業公社設立に向けた中間報告会が昨年の11月に開催されたが、その時初めて農業公社設立の検討がなされていることを知った。農業公社設立検討会委員のメンバーを見ると、認定農業者や大規模農家などが中心で、自立経営できる人がメンバーとなっている。メンバーの選定はどのようになされたのか。公募もするべきではなかったのか。また、令和5年度の予算に計上するということだが、収支などの明確なシミュレーションがなされていない。米価が安く、米の消費も減っている。米価は今後高くなることもない。そのような状況の中で、収支はプラマイゼロにはならない。農業公社は必要だと思うが、継続運営をするためには、収益を出すことが必要だと思う。中間報告の説明会で、具体性のない説明と資料を渡されて、いいか悪いかなど判断できない。将来のことを考えて慎重に進めるべきなのではないか。また、税金を使うので、農業従事者以外の人にも理解してもらう必要がある。町の進めた方は性急すぎるのではないか。

・「儲かる農業」のモデルができるのか。魅力ある作物をつくる必要があるのではないか。(さつまいも・えごまなど)

・民営圧迫にならないか。民間との利害関係の調整はつけられるのか。

・設立時、農業機械など全部新規にすることは、多額の費用がかかる。今持っている農機などを有効活用し、当初予算の削減につなげられないか。

・冬期間でもできるような新しい農作物の生産も考えて欲しい。

・高齢化に伴い担い手がいなくなり5年先も見えない状況である農家のことも考えて欲しい。また、赤字にばかりこだわって欲しくない。農業公社を早く立ち上げることを考えて欲しい。

回答…意見・要望として対応する。

＜回答者 秦＞

対応…(班として、対応または意見等があれば記載)

(4) 開催会場における改善及び反省事項

*一人の町民からの質問や意見が連続して話され、ほかの方々の話す時間が短くなってしまった。

*最初に定めた終了時間に合わせるため会を進めたが、時間が足りなくなった。終了時刻になってもまだ話したい町民がいるようだった。

2. 上小島集会所

(1) 担当係

- | | |
|----------|-------|
| ① 受付 | 上野恵美子 |
| ② 進行 | 猪俣常三 |
| ③ 開会あいさつ | 秦貞継 |
| ④ 説明 | 青木照夫 |
| ⑤ 記録 | 上野恵美子 |

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

なし

【要望事項】

・ 区長文書について

町から配布される書類(チラシ)が多く、配布する区長の負担が大きい。また、チラシに目を通した後はゴミとして捨てられているためゴミが増える。区長の作業量の軽減と紙の削減を求める。

・ ゴミ収集について

燃えるゴミは週に2回の回収であるが、プラは月に2回のみである。最近ではプラのゴミの方が多く、回収回数を1回程度増やしてほしい。

・ バスの利用について

現在野沢駅から代行バスが会津若松まで出ているが、始発は5時50分と早く、通学に使用している学生にとっては負担になっている。帰りも、高速バスは会津若松16時30分が最終であるため部活をしている学生は列車を使わないといけない。高速バスを増便することやJR代行バスの発車時刻改正をお願いしたい。

(3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

① 農業振興について

・ 農業公社が目指す農地保全について、10年後、20年後どの程度まで守っているのかの見通しは、実際は難しく、人もいない。町からの説明もなかった。

・ 担い手が現在各地区1~2人。担い手確保は現実的な話。

・ 「儲かる農業」及び「有害鳥獣対策」を町と議会と町民で考えて欲しい。温泉を利活用したバナナやコーヒーの生産成功事例もある。様々な角度から利益を追及していかなければいけないのでは。

・ 基盤整備から30年が経過し、農業用水路の水道管が老朽化している。補助金による農業用水路修繕で農家負担軽減を図るなどの対応が必要ではないか。

・ 農作物のGAP取得には綺麗な水が必要となる。また尾野本では登世島の一部地域で農作物への水不足が問題となっている。農作物生産における水道水の活用を考えて欲しい。

・農業用水を確保する処理施設の老朽化も進んでいる。特に水道橋の修理負担（例 1833 万円）が大きい。また、阿賀川からのポンプアップ施設の老朽化により今後の水利利用が確保されるのか不安が残る。小島地区の農業用施設及び設備の状況は町側に説明をしたが、町は各施設の対応年数や老朽化の状況は把握しているのか。修理には多額の費用がかかり農家への負担につながらないか先行きに不安を感じている。処理施設及び設備に対する補助や体制を考えて欲しい。

・農業公社が管理するとされる耕作放棄地は条件が悪いため手放した場所もある。農地の保全も大切だが、今農業をしている農家が今後も維持していけることを支えることに重点を置いた方がいいのではないか。不採算の土地の管理は考え直してはどうか。

・農業公社のアドバイザーは、農業経験者や学者ではなく、農作業の効率化や農作業人材不足に対応できるような I T 技術に特化した人材活用も考えて欲しい。無人機械や G P S など、人手の代わりとなる先端技術をつかめるような農業公社であって欲しい。

（農地の集約となる窓口や人材不足にも対応できる IT の活用など。）

・大規模農家や新規就農者には補助があるが、それに含まれない農家にも支援をしてもらいたい。（コロナ渦での農業者補助・支援は大変良かった。）

・外国製の肥料が高騰している。西会津産の肥料開発などにも取り組んではどうか。

回答…要望・提案として対応する。

<回答者 秦>

(4) 開催会場における改善及び反省事項

なし

令和5年2月27日

西会津町議会広報広聴常任委員会
委員長 武藤道廣 様

議会報告会 第2班 班長 三留 正義

議会報告会(第2班)報告書

「町民と議会との懇談会」(第14回議会報告会)開催結果について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
奥川みらい交流館 (奥川)	2月19日(日)	14:00～ 16:00	男性…7名 女性…0名 計…7名
新郷連絡所(新郷)	2月23日(木)(祝)	14:00～ 16:00	男性…4名 女性…0名 計…4名

自治区長出席者状況 奥川みらい交流館 中町自治区長 岩橋 義平
新郷連絡所 樟山自治区長 海沼 賢勇

添付書類…出席者名簿

2. 出席議員

武藤道廣 小柴 敬 三留正義 荒海正人

3. 実施内容

別紙のとおり

1. 会場：奥川みらい交流館

(1) 担当係

- ① 受 付 小柴 敬
- ② 進 行 三留 正義
- ③ 開会あいさつ 三留 正義
- ④ 説 明 三留 正義
- ⑤ 記 録 荒海 正人

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

- ① 決算の財政状況について収支においては黒字となっているが、余剰金については、どのように対応されるのか

□ 回答…令和 3 年度決算の特徴の一つとして新型コロナウイルス対策等の交付金が多かったため、財政的な補助が例年に比べ多くなっていた。余剰金については、次年度予算への繰越や財政調整基金等への積立となる。

また、上下水道事業の企業会計への転換に伴い財政負担の平準化を目的とした対応がされたことから財政的に余裕があったということではない。 <回答者 武藤>

- ② 管内事務調査で旧奥川小学校寄宿舎を視察しているが利用ができない状況にも関わらず活用について検討すると記載されている。議会としての見解は。また、年々老朽状況が悪化していることから早い対応をお願いしたい。

□ 回答…これまで様々な検討がされてきたものの耐震や使用内容が決めきれていない。耐震レベルが示されているがランクが低くても活用できないということではない。活用内容が示されれば管理もされることから町とも協議を進めていきたい。周辺住居等への安全性確保については町へ要望していく。 <回答者 武藤>

- ③ 耐震ランクが低い公共施設が放置されているように見える。議会として施設の改修や利活用について具体的な道筋を示すべきではないか。また今後の見通しや対応の追跡について共有がほしい。

□ 回答…施設を解体する場合、補助がないため財政的に解体に向けて取り組むことが難しい状況。ただし新たな施設を作る場合は補助があるため、政策上保留になっていることもある。これまで野沢保育所や公民館等も耐震ランクが低い活用されている。また既存施設等の中でも長寿命化計画のもと改良をしながら使用しているものもあるので、計画の対応については今後も町と協議していく。議会からも委員会や視察を実施した際に具体的な内容について擦り合わせを行い、議会の場でも報告をしている。追跡について広聴広報等と連携しながら報告できる内容を検討していきたい。

<回答者 三留・武藤・小柴>

- 対応…町の対応についての追跡方法の検討

④ 職員の育児休業の内容は。

回答…国の法律改正により、これまで会計年度人用職員の育児休暇の内容が改正された。

<回答者 三留>

⑤ 水害の際に電柵費用を立て替えているが、その後の反応がないがどのような対応がされているのか。

回答…内容については、農林課へ確認する。

<回答者 武藤>

● 対応…町の対応を調査し、対応を協議する

⑥ 豪雨災害で被災した水路の確保がまだとなっている、作付けまでに対応できるのか。

回答…町では、作付けまでには間に合わせるという方針ということで議会に報告があった。また受益者負担をなしとする方針を出している。具体的な措置対応としては国の対応決定(2月中)を待って正式に決定するという事だった。ただし、住民心理として一早い対応が望ましいと考える。

<回答者 武藤>

⑦ 小規模災害の自己負担については

回答…激甚災害指定された箇所同様に個人負担は求めないという方針がされている。

<回答者 武藤・荒海>

⑧ 災害時の対応がわかりにくい。災害対策本部で一連の対応ができていないように思える。対策本部は、町民税務のみならず、関係各所部署から人員を集結させなければならないのではないか。

回答…我々としても対策本部と各課の連携が取れていないと考えている。情報収集や発信だけでなく対応も含めて一括で扱えるワンストップ窓口も必要と考える。今後も町に要望していきたい。

<回答者 武藤・三留>

● 対応…議会から町に要望する

(3) 懇談会に係る参加者からの提言及び意見等

① 耕作放棄地の利用については、やっていただきたい。

② 小規模農家の農家だけでは農地を守っていくのは難しい農業公社が入ることで農地の活用を目指せるのではないかと。

回答…現状の計画では、現在耕作している箇所を守ることを主点としているが、今後、周辺の耕作放棄地の管理や利活用も含めて手を伸ばせるような場合は広げていける余地はある。また、事業内容としては農地保全、作業受託の需要が町内各地であることを認識している。町の対応としては、需要があるところはやっていかなければならないと考えている。

<回答者 三留・武藤>

③ 耕作放棄地を活用したが稼ぎ策等は考えられないかと。

回答…今後、具体的な計画策定や協議の場で情報交換する際に見つけていきたい。

<回答者 三留>

④ 農業公社は営利を求めるものなのか、町の公的な事業をやるものなのか。

□ 回答…どちらも含まれている事業体として立ち上げていく。農地保全から人材育成の公的な事業に加え、生産活動や作業受託等の収益的な事業もある。

<回答者 武藤>

⑤ 民業圧迫になるのではないか。

□ 回答…農業公社が受託する仕事は、今後新たに発生してくる箇所になると認識している。既存の受託組合等に関しては現段階でも人員不足等により限界値に達していると考えことから、既存の事業者への圧迫については考えられないと認識している。

<回答者 武藤>

⑥ 米のブランド化等は着手していくのか。

□ 回答…計画では、商品開発や営業を兼ねる事業も含まれていることからブランド化に向けた取り組みも行われていく。

<回答者 武藤>

⑦ しっかりと収入を出す方法を考えながらしてほしい。できれば最終的には農地を購入することも含めて考えられないか。

□ 回答…視察を通じて見えてきたものの一つとして収益を生むためには国の補助等も関わっているため農地を活用することは難しいが、やり方を検討しながら要望していきたい。農地の購入については、現段階の計画では、土地を購入するまでは考えられていない。

<回答者 三留>

⑧ 農業活性化するためには面白い事業になるのでは

□ 回答…JA 等とのつながりをつくらず町独自やるということについて、敵対するということではなく、都度協力体制を構築しながらできるものでもある。西会津に合った農業の活性化について進めていく体制が敷ければと考えている。

<回答者 三留>

2. 会場：新郷連絡所

(1) 担当係

- | | |
|----------|-------|
| ① 受付 | 小柴 敬 |
| ② 進行 | 三留 正義 |
| ③ 開会あいさつ | 三留 正義 |
| ④ 説明 | 三留 正義 |
| ⑤ 記録 | 荒海 正人 |

(2) 議会報告に関わる参加者からの質問・意見等

① 旧役場庁舎について方向性を示していくべきではないか

□ 回答…現段階では今後の見通しはされていない。耐震レベルが示されているがランクが低くても活用できないということではない。公民館への転用や活用に向けたアイデアもあるが、まだ検討されている段階。

<回答者 武藤>

② 米粉パンの取り組みについてどのような評価がされているのか

- 回答…米粉パンの製造については視察等を通じても運営が難しいことが分かった。町の取り組み（道の駅）は、原価的に高くなってしまっている。町でも飼料米等も栽培され検討はされているとのことである。 <回答者 三留>

③ 農山村における長期的ビジョンが生まれることを期待している。特に森林資源を活用した取り組みが必要なのではないか。

- 回答…要望として議会として持ち帰る。 <回答者 三留>
 対応…議会から町に要望する

④ 西会津国際芸術村の周辺管理についてどのように管理しているのか。特にグラウンドの管理をして欲しい。

- 回答…実態調査しながら改善するように町と協議する。 <回答者 三留>
 対応…現状について町の対応を調査し、対応を協議する

(3) 懇談会テーマ『農業振興について』

① 新郷連絡所の利活用についてどのように検討されているか。また既存の機能（診療所機能等）に影響がないようにしてほしい

- 回答…新郷連絡所の既存機能も含めて町と協議していく。 <回答者 三留>
 対応…議会から町に要望する

② 農業公社と振興公社の違いは何か

- 回答…農業公社は、財団法人ということで公益的の事業も含まれていることが振興公社と大きく異なる点。また収益的な事業としても各自地区の事務委託等が検討されている。民業圧迫とならないように今後調整していく。人員（作業員等）の確保は、登録制として季節ごとに町内外から募集する。できる限り町の農業体制を維持するということを考えて実施していく。 <回答者 三留>

③ 財政的な支援や利用者の負担は

- 回答…地域と擦り合わせながら、残せる農地の線引きをしていく。やり方等により利用者負担が軽減することもできる。財政への影響については、各種補助を有効に活用しながら影響がないようにしていくようにしなければならない。 <回答者 武藤>

④ 全町の農地をカバーできるようにしなければ、山間部の農地は荒廃してしまう。

経済的な視点だけでなく、健康や趣味、関係構築の観点からも事業の形を検討してほしい。

- 回答…公益的な事業も行われていくことから、町のさまざまな視点から農業体制の維持を考えていきたい。また運営については、確実性ある収益部門を持つことが一つのポイントだと考えている。運営が安定すれば、様々な取り組みもできるようになると考えている。 <回答者 武藤>

令和5年2月27日

西会津町議会広報広聴常任委員会
委員長 武藤道廣 様

議会報告会第3班 班長 多賀 剛

議会報告会(第3班)報告書

「町民と議会の懇談会」(第14回議会報告会)開催結果について、下記の通り報告いたします。

記

1. 開催場所及び日時等

開催場所	開催日	開催時間	参加者
町公民館	2月13日(月)	18:00～ 20:00	男性…8名 女性…1名 計…9名

自治区長出席状況

本町1自治区長	鈴木和仁
下小屋11自治区長	小柴正意
原町4自治区長	渡部 憲
原町6自治区長	橋谷田豊

添付書類…出席名簿

2. 出席議員

多賀 剛 伊藤一男 小林雅弘

3. 実施内容

別紙の通り

1、町公民館会場

(1) 担当係

- | | |
|----------|------|
| ① 受付 | 小林雅弘 |
| ② 進行 | 多賀 剛 |
| ③ 開会あいさつ | 伊藤一男 |
| ④ 説明 | 伊藤一男 |
| ⑤ 記録 | 小林雅弘 |

(2) 議会報告に係る参加者からの質問等

① 財産の取得について

○ 質問…町民バス、除雪ドーザの取得は必要だったのか。また、何台ぐらい取得したのか。

□ 回答…すべて更新ということ。古くなったものを新しくした。

坂下線を28人乗りにするなどバス2台、ドーザ2台。

<回答者 多賀 剛>

○ 質問…何年ぐらいもつのか。

□ 回答…明確に「何年」とは決まっていないが、一度に更新とならないように定期的、計画的に更新していく必要がある。

<回答者 多賀 剛>

② さゆり公園内の体育館などの雨漏りについて

○ 質問…体育館内の雨漏りで、バケツがおいてある。また、プールの渡り廊下の雨漏りが酷い。料金を取って運営しているが、何とかならないのか。

□ 回答…長寿命化計画の中で取り組んでいる。緊急性を考慮して実施するよう行政に伝えていく。

<回答者 多賀 剛>

○ 質問…体育館の方が利用者が多く、雨漏りも酷い。ソーラーパネルの関係という事だが、そういう問題ではない。避難所としても使用するのだから。

□ 回答・対応…優先順位を早めるよう、責任を持って町に申し入れをしていく。

<回答者 多賀 剛>

③ モンベルとの提携について

○ 質問…モンベルとの契約は町側から申し入れをしたのか。

□ 回答…町が首都圏から企業による町の見学会を企画した時に来町した。もともと西会津町の企画だったが、今は会津13市町村と会津振興局と提携協定を結んでいる。この会社は、社長が地域貢献したいという会社。

<回答者 多賀 剛>

□ 回答…こちら側からの要望に応じてもらうということ。

<回答者 伊藤一男>

④ 振興公社について

- 質問…よりっせのレストラン（の経営）が変わるそうだが。
- 回答…その話は聞いているが、議会にはまだ正式な話はない。 <回答者 多賀 剛>

- 質問…（レストラン）閉店の後はどうするのか。
- 回答…振興公社が直接経営するようだが、議会としては人事などに口出できない。 <回答者 伊藤一男>

- 質問…道の駅の黒字をロータサインに投入しているという話があるが。
- 回答…振興公社の決算としてはそういう構造だ。しかし、ロータサインには公金は投入していない。温泉施設には町から指定管理料が入っている。 <回答者 多賀 剛>

- 質問…（振興公社の）決算は町民が分かるのか。
- 回答…（具体的に数字をあげて）公表されている。 <回答者 伊藤一男>

- 質問…ロータサインの職員が黒字化する努力が必要だ。上の人が人を育てる努力が必要。褒めて従業員を伸ばすことが大切。ロータサインの執行部は分かっているのか。
- 回答…町には必要な施設。今後も経営努力を求めていく。 <回答者 伊藤一男>

⑤ 議会・議員について

- 質問…議員の報酬が上がったが。
- 回答…職員の報酬に関しては、人事院勧告に従うが、議員の報酬に関しては自主的に条例で決めている。 <回答者 多賀 剛>

- 質問…議員定数はどう考えているのか。
- 回答…14人から12人に減らした時、付帯決議でこれ以上は減らさないとしている。 <回答者 多賀 剛>

- 質問…議員が身を削る必要がある。定数を減らしてはどうか。
- 回答…12人切ったら本来の議会活動ができなくなるという判断で今に至っている。 <回答者 多賀 剛>

- 対応…町民からそういう意見がでたことは、議会に報告する。 <回答者 伊藤一男>

- 質問…3月議会で議長選挙はやらなければならないのか。
- 回答…議長選挙は、法でやらなければならないとされている。 <回答者 伊藤一男>

⑥ その他

- 意見…その他の町の財政状態を健全にするために、議会はチェックをしていただきたい。

(3) 農業公社について

- 質問…農地を維持するために、町は計画があるのか。
□ 回答…検討会議で農業公社設立について検討している。議会として農業公社調査特別委員会をつくって検討している。 <回答者 多賀 剛>
- 質問…担い手を確保して農地を無駄なく使えるようにしてほしい。
□ 回答…若い担い手が若干増えている。議会としてもできる範囲で支援していく。 <回答者 多賀 剛>
- 質問…昭和村では公社をつくって支援している。町は遅い。
□ 回答…阿賀町では29・30年前から（公社をつくって）やっている。 <回答者 伊藤一男>
- 質問…早く農業法人をつくって安心して耕作できるようにしてほしい。
□ 回答…町では来年から耕作をやめるという人もでてきている。急ぐ必要がある。 <回答者 多賀 剛>
- 質問…農業公社は公共性が強いが、利益はでているのか。また、耕作放棄地問題は解決しているのか。
□ 回答…公共性が強いと、本業で利益をだしているところはあまりない。（耕作放棄地問題でも）十分解決しているとはいえない。 <回答者 多賀 剛>
- 質問…（町がつくろうとしている）農業公社だが公社の目的は。
□ 回答…儲けより公共性の強いものになるのではないかと。 <回答者 多賀 剛>
- 質問…当初予算はいくら必要なのか。
□ 回答…有利な過疎債や辺地債などを利用して設立していく。 <回答者 多賀 剛>
- 質問…説明会では前向きな意見が多かったが、議員はどう結論づけるのか。
□ 回答…議員は温度差があるが、答申を出せるよう検討している。 <回答者 多賀 剛>
- 回答…農業公社をつくるにあたって、今後どのくらい予算が必要なのか、町に見通しを示すよう言っている。 <回答者 伊藤一男>
- 意見…是非、前向きに判断していただきたい。
- 質問…耕作放棄地では何を作ればいいのか、提案もしなければならない。
□ 回答…それを調査するのも公社の役割。 <回答者 多賀 剛>
□ 回答…公社の収益の柱をどうするのか、今後検討が必要だ。 <回答者 伊藤一男>
- 意見…例えば、ロータスの温泉を利用して、バナナ、コーヒーを栽培してはどうか。他の真似ではいけない。ダメダメダメでは何も生まれない。
□ 回答…そういう意見をどんどん出していただきたい。 <回答者 多賀 剛>
□ 回答…また、それを実施するためには人材の育成も必要だ。 <回答者 伊藤一男>

- 質問…人材の育成も含め、軌道にのるまでは（町が）面倒をみることも必要ではないのか。
- 回答…農業大学に働きかけるなど、人材を集めることも大切だ。 <回答者 伊藤一男>
- 意見…理論ではなく、今必要なのは実践だ。
-
- 質問…マスタープランを早く作らせる必要があると思うが。
- 回答…この前出てきたが、精度がどうかの疑問がある。人材については地域おこし協力隊を使うことも選択肢の一つ。人材育成も公社の課題だ。 <回答者 多賀 剛>
-
- 質問…今度の議会で、議員がゴーサインを出すのか。
- 回答…検討委員会として3月議会に報告書を出す。 <回答者 多賀 剛>
- 意見…いかに農業・農家を大切にするか、地域経済に貢献するか。今最大のテーマは農業だ。議員はサポートしていただきたい。
-
- 質問…ふるさと納税など、自由に使えるお金をどれだけ増やせるのか。米の次に位置付けられる戦略作物をつくるのが大切だ。
- 回答…提案していく。 <回答者 多賀 剛>